

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第39期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社 アイビー化粧品
【英訳名】	IVY COSMETICS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白銀 浩二
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03（3568）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部 本部長 今橋 正道
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03（3568）5151（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部 本部長 今橋 正道
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第2四半期連結 累計期間	第39期 第2四半期連結 累計期間	第38期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	2,322,192	2,191,550	4,676,676
経常利益(千円)	202,073	166,276	433,614
四半期(当期)純利益(千円)	100,758	94,814	210,409
四半期包括利益又は包括利益(千円)	99,700	96,468	213,214
純資産額(千円)	2,714,691	2,707,751	2,827,924
総資産額(千円)	5,412,290	5,164,582	5,182,128
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	4.66	4.38	9.72
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	50.2	52.4	54.6
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	486,152	467,994	261,057
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	21,728	33,206	50,398
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	266,836	232,096	326,168
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高(千円)	797,977	791,822	1,459,273

回次	第38期 第2四半期連結 会計期間	第39期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	17.36	16.99

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の動向に注意が必要なものの、各種政策の効果が発現するなかで、輸出、生産活動、投資は緩やかに増加し、個人消費も持ち直し傾向が継続すると見込まれ、景気は緩やかに回復しつつあります。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

具体的には、アイビーファンの拡大推進にあたり、販売拠点である営業所増設と、営業所からの新規増客、固定客化を推進してまいりました。お客様との出会いを大切に、肌状態や使用状況の把握からサービス向上に努め、当社の強みでもあるレギュラー製品の販売強化、並びに美容液の予約促進、お客様の肌を美しく導ける販売者の育成に力を入れてまいりました。

当四半期は、翌四半期に発売が予定されているアイビーコスモス シリーズの追加品目を中心としたスキンケアの販売、並びに9月度に新発売したアイビー スーパー ソニック HD キットによる美容法展開に意識が高まりました。しかしながら、その影響を受け、美容液の受注数は、前年同四半期比17%減少しました。また、研修動員数の落ち込みなどにより、新規顧客の獲得が伸び悩んだこともあり、売上面におきましては減収となりました。

損益面におきましては、引き続き販売費及び一般管理費の節減に全社を挙げて努めましたが、売上減による売上総利益の減少額が大きく、原価率も上昇したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益とも減益となりました。

ロシア事業におきましては、ディストリビューター支援に努め、伸長できるよう取り組んだ結果、累計小売売上高は徐々に伸びてきております。

また、台湾事業におきましては、9月1日に台北市の百貨店ブリーズセンター内で店舗をオープンし、セットユーザーづくりからリピーター獲得に向けた諸施策を展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,191,550千円（前年同四半期比5.6%減）、営業利益162,773千円（前年同四半期比22.6%減）、経常利益166,276千円（前年同四半期比17.7%減）、四半期純利益94,814千円（前年同四半期比5.9%減）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上等があるものの、売上債権の増加、法人税等の支払、配当金の支払等により、当連結会計年度期首残高に比べ667,451千円減少し、当第2四半期連結会計期間末には791,822千円となりました。

また当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は467,994千円（前年同四半期比18,157千円減）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益166,276千円、減価償却費52,223千円等があるものの、売上債権の増加額635,801千円、たな卸資産の増加額71,087千円、法人税等の支払額60,719千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は33,206千円（前年同四半期は21,728千円の使用）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出24,695千円があるものの、定期預金の払戻しによる収入50,000千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は232,096千円（前年同四半期比34,740千円減）となりました。

これは主に配当金の支払額200,730千円、社債の償還による支出30,000千円等があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、124,237千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,520,000	25,520,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	25,520,000	25,520,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	25,520,000	-	804,200	-	343,800

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社白銀社	東京都港区南青山7-7-16	3,900	15.28
株式会社ブリーズ	東京都武蔵野市桜堤2-13-1-633	2,900	11.36
株式会社エスケープビジネス	東京都港区赤坂8-10-30	1,800	7.05
アイビー化粧品取引先持株会	東京都港区赤坂6-18-3	856	3.35
安藤 視基子	東京都港区	768	3.00
白銀 真也	東京都武蔵野市	736	2.88
白銀 浩二	東京都港区	692	2.71
白銀 恵美子	東京都港区	650	2.54
アイビー共栄会	東京都港区赤坂6-18-3	513	2.01
安藤 一人	大阪府大阪市中央区	348	1.36
計	-	13,164	51.58

(注) 上記のほか、自己株式が3,886千株あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,886,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,478,000	21,478	-
単元未満株式	普通株式 156,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	25,520,000	-	-
総株主の議決権	-	21,478	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アイビー化粧品	東京都港区赤坂6丁目18番3号	3,886,000	-	3,886,000	15.22
計	-	3,886,000	-	3,886,000	15.22

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,000株(議決権の数3個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,509,273	791,822
受取手形及び売掛金	1,005,164	1,641,055
商品及び製品	416,440	424,780
仕掛品	10,298	33,981
原材料及び貯蔵品	138,459	177,524
その他	128,925	160,472
貸倒引当金	7,858	11,089
流動資産合計	3,200,703	3,218,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	439,009	422,395
機械装置及び運搬具(純額)	50,769	46,071
土地	521,190	521,190
リース資産(純額)	11,428	10,514
その他(純額)	33,323	47,576
有形固定資産合計	1,055,721	1,047,747
無形固定資産		
投資その他の資産	40,888	35,940
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	274,176	271,747
差入保証金	393,296	392,310
その他	270,160	254,831
貸倒引当金	58,752	60,725
投資その他の資産合計	878,880	858,164
固定資産合計	1,975,490	1,941,852
繰延資産		
社債発行費	5,935	4,183
繰延資産合計	5,935	4,183
資産合計	5,182,128	5,164,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	281,174	359,806
短期借入金	880,000	880,000
1年内償還予定の社債	260,000	260,000
未払法人税等	69,453	74,938
賞与引当金	72,756	69,090
ポイント引当金	322	429
その他	314,211	378,763
流動負債合計	1,877,919	2,023,028
固定負債		
社債	380,000	350,000
退職給付引当金	52,503	41,890
その他	43,781	41,912
固定負債合計	476,285	433,802
負債合計	2,354,204	2,456,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,067,083	2,945,546
自己株式	1,270,229	1,270,519
株主資本合計	2,944,854	2,823,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,748	3,403
土地再評価差額金	118,678	118,678
その他の包括利益累計額合計	116,929	115,274
純資産合計	2,827,924	2,707,751
負債純資産合計	5,182,128	5,164,582

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	¹ 2,322,192	¹ 2,191,550
売上原価	457,299	515,856
売上総利益	1,864,893	1,675,694
販売費及び一般管理費	² 1,654,603	² 1,512,920
営業利益	210,290	162,773
営業外収益		
受取利息	1,934	2,107
受取配当金	410	336
受取賃貸料	24,587	34,907
雑収入	10,648	13,619
営業外収益合計	37,581	50,971
営業外費用		
支払利息	7,580	6,999
賃貸収入原価	29,990	36,858
雑損失	8,226	3,609
営業外費用合計	45,798	47,467
経常利益	202,073	166,276
税金等調整前四半期純利益	202,073	166,276
法人税、住民税及び事業税	80,073	70,756
法人税等調整額	21,241	706
法人税等合計	101,314	71,462
少数株主損益調整前四半期純利益	100,758	94,814
四半期純利益	100,758	94,814

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	100,758	94,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,057	1,654
その他の包括利益合計	1,057	1,654
四半期包括利益	99,700	96,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,700	96,468

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	202,073	166,276
減価償却費	56,987	52,223
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,789	10,613
賞与引当金の増減額(は減少)	33,417	3,666
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,464	5,203
受取利息及び受取配当金	2,345	2,443
支払利息	7,580	6,999
為替差損益(は益)	175	566
有形固定資産除売却損益(は益)	441	11
売上債権の増減額(は増加)	366,341	635,801
たな卸資産の増減額(は増加)	153,626	71,087
仕入債務の増減額(は減少)	13,751	78,632
未払金の増減額(は減少)	7,348	46,806
未払役員退職慰労金の増減額(は減少)	-	3,500
その他	34,978	32,887
小計	335,297	403,277
利息及び配当金の受取額	2,301	2,409
利息の支払額	7,703	6,406
法人税等の支払額	145,452	60,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	486,152	467,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	15,065	24,695
無形固定資産の取得による支出	4,868	1,307
定期預金の払戻による収入	-	50,000
貸付金の回収による収入	8,471	8,593
差入保証金の差入による支出	4,327	3,900
差入保証金の回収による収入	13,450	4,784
その他	19,390	267
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,728	33,206
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	6,829	1,075
社債の償還による支出	45,000	30,000
自己株式の取得による支出	62	290
配当金の支払額	214,944	200,730
財務活動によるキャッシュ・フロー	266,836	232,096
現金及び現金同等物に係る換算差額	175	566
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	774,892	667,451
現金及び現金同等物の期首残高	1,572,870	1,459,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	797,977	791,822

【注記事項】

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

当社グループでは、主として第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中して売上高が発生するため、通常第2四半期連結累計期間の売上高は、第1四半期連結累計期間の売上高を2倍した金額と比べ著しく高くなっております。

2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与手当	395,415千円	371,352千円
賞与引当金繰入額	72,375	60,809
退職給付費用	49,308	36,384
貸倒引当金繰入額	7,464	5,203

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	847,977千円	791,822千円
預入期間が3か月を超える定期預金	50,000	-
現金及び現金同等物	797,977	791,822

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	216,370	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	216,352	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円66銭	4円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	100,758	94,814
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	100,758	94,814
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,636	21,634
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

株式会社アイビー化粧品

取締役会 御中

東光監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 明充 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 勝 伸一郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイビー化粧品の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイビー化粧品及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。